

2019 年度シラバスフォーム

授業科目名	実践アイデア発想演習	担当	西根英一	科目コード	202
配当年次	1 年次・2 年次	配当学期	前期		
開講キャンパス	名古屋	単位数	2 単位		
必修・選択の別	選択	授業の方法	講義並びに演習		
授業科目の内容					
<講義概要と目的>					
<p>クリエイティブ発想とロジカル思考の和をもって、知を視覚化しながらアイデアを発想し、事業を創発していきます。事業構想力のベースとなる 0 を 1 にする階段へのアプローチをいくつかの発想法をもって体験していきます。</p>					
<到達目標>					
<p>アイデアを文字や数字の並びでなく、数式にする、図式にする、地図にする、絵本にするような発想で“アイデアを描く”(ビジュアルマッピング)能力を会得することを目標にします。</p>					
<授業の進め方と方法>					
<p>講義体をとらず、イントロダクションにてテーマをガイダンスした後は、少人数の複数チームに分かれ、ファシリテーターが立ち、アイスブレイクに始まり、ブレインストーミング(+ブレインライティング)からビジュアルマッピングで視覚化し、ブラッシュアップへと進みます。クリエイティブシンキングが前半、クリティカルシンキングとロジカルシンキングが後半に求められます。最後に全体を振り返り、クロージングします。</p>					
<講義計画>					
第 1 回	テーマ①	<p>ひとの意思決定因子(decision making factor)を洗いざらいまんべんなく総ざらいすると、どんな事業が創発されるか？ (究明的にアイデアを発想する) = フィッシュボーンダイアグラム</p>			
第 2 回	テーマ②	<p>異常と正常を逆転させて発想すると何が生まれ、どんな事業が創発されるか？ (逆転的にアイデアを発想する) = リバース</p>			
第 3 回	テーマ③	<p>異質なものを掛合わせて発想すると何が生まれ、どんな事業が創発されるか？ (混合的にアイデアを発想する) = コンバイン</p>			
第 4 回	テーマ④	<p>興味のない本の目次をパクって関心ある内容の本の目次をつくと何が書けるか、どんな事業が創発されるか？ (編集的にアイデアを発想する) = ランダムインプット</p>			
第 5 回	テーマ⑤	<p>理想とする条件を「最大」「最上」「最適」と順に付替えていくと何が変わるか、どんな事業が創発されるか？ (理想的にアイデアを発想する) = オプティマム</p>			
第 6 回	テーマ⑥	<p>存続しない・継続しない・承継しないをルールにしたなら何が生まれ、どんな事業が創発されるか？ (前提破壊的にアイデアを発想する) = アサンプションスマッシング</p>			

2019 年度シラバスフォーム

第 7 回 テーマ⑦ 世の中のありとあらゆる変数を集めて演算すると、どんな事業が創発されるか？
(演算的にアイデアを発想する) = アルゴリズム

第 8 回 MPD 名古屋画廊「ビジュアルマッピング」グループ展
テーマ①～⑦にて学んだ発想法を用いて、個別に制作したビジュアルマッピングの作品(数式、
図式、地図、絵本などで表したものを)を各自一点持ち寄り、画廊のごとく展示して、来場者に
アイデアを語る。

<講義外の課題>

名古屋近郊で開催される知の創発に関連するイベント(世代が異なったり業態が異なったりするものが
好ましい)に参加ないしそれを聴講し、どんな発想法で知が創発されているかを探ること。

<教科書・参考書>

各テーマに沿った資料を毎回提示します。

<評価方法>

チームテーマ発表(第 1 回～第 7 回)と個人成果発表(第 8 回)を評価の 8 割に設定します。残り 2 割は「チ
ーム」への参画度を平常点とします。

<その他の重要事項>

拡散と収束、水平と垂直、統合と分析など、アイデア発想のための交錯を楽しむことを厳守。